

秋も深まり、過ごしやすい季節になりました。今月の特集では、運転士を支援する画像技術や、車両の電磁ノイズ予測など鉄道での活用が期待できる技術を紹介しました。運転支援のシステムは、鉄道のみならず自動車においてもさまざまな商品化が進んでいます。高齢者も増え、負担の軽減につながればと思います。また、今年の夏は、関東地方を大型台風が直撃し、首都圏各地に大きな被害をもたらしました。鉄道では広範囲に計

画運休が実施されましたが、これらの判断にあたっては、気象現象などの予測技術や、その精度の向上は不可欠と思います。減災という視点でも、豪雨による土砂崩れなどあらかじめ被害を予測できる技術がさらに進化することが望まれます。

次回12月号の特集は「コンピューター利用システムの開発史」です。鉄道の座席予約システムや非接触ICカードなどを紹介します。どうぞご期待ください。(M. S.)